

桜井ひでき

現場の声を
県政に!



県政レポート

2025年新年号
発行：桜井ひでき事務所

vol.24

明けましておめでとうございます
本年が皆様とご家族にとりまして
健やかな一年になりますようお祈り申し上げます

message

令和7年も愛知県は躍進します!

本年も皆さんとともに新しい年を迎えることができたことを嬉しく思います。

愛知県では、本年3月に愛知万博開催から20周年を迎える節目に合わせ、ジブリパークで盛り上がる愛・地球博記念公園で記念事業が開催されます。県内のみならず、国内外からの来園者に対し、愛知の多彩な魅力を発信していきます。さらに7月には2026年のアジア競技大会・アジアパラ大会開催に合わせ、新体育館「IGアリーナ」が完成します。こけら落としとして大相撲名古屋場所の開催をはじめとして、様々なエンターテインメントやスポーツ競技等で活用していきます。

今年も自分らしく、議員活動にまい進してまいります。

◀愛知環状鉄道三河上郷駅前広場で、この冬もイルミネーションが点灯しています!(3月14日まで)



TOPICS 1 愛知県議会 北米海外視察団に参加!

愛知県議会海外視察団の一員として、愛知県が取り組みを進める事業と関連するスタートアップ支援や、DXの推進・スポーツイノベーションなどについて北米(テキサス州・カリフォルニア州)へ調査に行き、担当者と直接お会いしながら現地調査をしてきました。

スタートアップ支援の推進

テキサス大学オースティン校

大学内のICスクエア研究所が大学の知識や技術に基づくイノベーション戦略の企画・立案、スタートアップの創出・市場化を支援。アメリカだけでなく、25カ国以上において企業支援を実施。



スポーツイノベーションの推進

ヒューストン・スポーツ・オーソリティ

スポーツ施設の計画、整備、開発、運営などが主な業務。保有している複数のスタジアム施設を活用し、世界規模のスポーツイベントの誘致・開催に伴う地域経済の発展・促進、地域住民の生活の質向上に取り組む。



先進医療・研究の推進

MDアンダーソンがんセンター

米国テキサス州ヒューストンを拠点とする、テキサス大学傘下のがん医療・臨床拠点。米国U.S.News & World Report誌において、毎年のようにがん医療機関として全米第1位にランキング。病床数743、年間総患者数174,126、年間手術数22,977、治験数1,600(参加患者数9,684)、特許取得件数195(2021年度)、医師数1,825、雇用総数22,088。



DXの推進

Google

2人の創設者がスタンフォード大学在学中に検索エンジンの開発を共同で始め、1998年に10万ドルの投資を受けたことで法人化され、後に数年で急成長を遂げ、現在の本社(所在地:マウンテンビュー)に移転。現在は検索以外にもYouTube、Android、Gmailなど数百のプロダクトを提供している。また、社会貢献を行う個人、団体への投資、災害地へのボランティアの派遣、持続可能な社会のためのイノベーションなどにも取り組んでいる。



桜井の意見 直接、担当者の話を聞き、愛知県の政策に反映すべき多くのことを学びました。

閉塞感を打破し、人が輝き躍進する愛知を目指した議会を開会！



▲代表質問する鈴木議員

質問1 持続的な本県産業の振興について

Q ロボットの社会実装をさらに推し進めるため、県としてどのように取り組んでいけるのか伺う。

大村知事 答弁

今後、生産年齢人口の減少が予想される中で、本県産業の競争力を維持・発展させていくためには、ロボットの活用促進を通じた省人化、生産性向上への取組が重要と認識。これまで「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核として、開発側と利用側のマッチング、技術開発・実証実験の支援、専門人材育成等を通じて、ロボットに係る製品開発や導入の促進に取り組んできた。今年度は導入可能性調査や運用課題の検証に要する費用を支援する本県独自の補助金、「ロボット未活用領域導入検証補助金」を創設し、8件の実証事業を採択し、博物館におけるロボットによる館内案内ツアーの実現を目指した試験運用や、一人暮らし高齢者の健康見守りロボットの活用促進に向けた技術検証などを支援。今後もロボットの導入が期待される分野へのさらなる社会実装に取り組むとともに、ロボット産業が集積する本県の強みを生かし、「ロボットを『作り』『使う』世界的な先進地愛知」の実現に努めていく。

質問2 誰もが活躍できる社会の実現について

Q 中高年齢者の雇用促進について、どのように取り組んでいけるのか伺う。

大村知事 答弁

中高年齢者が活躍の場を広げ、働き方を考える機会を提供するセミナーを開催するとともに、キャリアコンサルタント等を市町村に派遣し個別の相談に応じている。一方、年齢が高くなるにつれ、自身の能力や経験を生かしたいと思う仕事と中小企業等が求める業務でミスマッチが生じ、採用に至らないことが課題となっていることから中小企業の人材確保を支援するため、高年齢者の雇用メリットや活用方法等を紹介するセミナーや、ハローワークとの合同企業説明会を実施。また、企業や中高年齢者にとって雇用に関する有益な情報をワンストップで提供するため、国等の支援制度や各種相談窓口を始め、働く中高年齢者や雇用企業の好事例、セミナーやリスキングの情報などを分かりやすく紹介する専用ポータルサイトを新たに構築し、情報発信を充実していく。今後も中高年齢者が自らの能力を十分に発揮し、地域経済の担い手として長く生き生きと働けるよう、国や市町村と連携しながら、中高年齢者の雇用促進にしっかりと取り組んでいく。



▲答弁する大村知事

質問3 県立学校施設の長寿命化改修事業について

Q 現在、県立学校施設長寿命化計画は、策定からちょうど折り返しの時期にきているが、これまでの長寿命化改修事業の取組状況と今後の取組について伺う。

飯田教育長 答弁

「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、建築後30年経過の建物を対象とした大規模改修工事に加え、60年経過を目的に長寿命化改修工事をすることで、80年まで使用できるよう、老朽化対策を進め、屋上防水、外壁の改修、屋内の壁や床などの改修、照明のLED化など、建物の老朽化の状況に応じたリニューアルを図っている。計画の進捗状況は、238棟の工事を完了し、今年度に完了予定の60棟を合わせると、進捗率は40.3パーセントとなり、計画どおり。また、トイレの環境改善として、普通教室棟や管理棟の便器の洋式化と床の乾式化も、並行して進め、昨年度までに2,064か所の整備が完了。今後の取組は、計画期間の終期となる2029年度までに、残りの441棟の工事を進めていく。また、2030年度以降に、建築後30年又は60年を迎え、新たに改修の対象となる建物が、まだ約630棟あり、長寿命化の対策を進めていく。



▲答弁する飯田教育長

代表質問

12月定例議会が12月2日(月)～12月19日(木)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問を行い、あいち民主県議団からは、政策調査会長である鈴木まさと議員(岡崎市及び額田郡選出;4期)が登場し、県政諸課題について県の考えを質しました。

主な議案

あいち型産地パワーアップ事業費補助金の拡充

近年の夏期高温による農作物への影響を軽減し、本県の農業生産力の向上を図るため、来年夏までに高温対策として必要となる農業機械、設備等の導入を支援します。

高温対策の例



▲ミスト装置

▲簡易保冷施設

◀自動カーテン

主な補助対象

- ・栽培施設の整備や機能向上を伴う改修
- ・共同利用施設の整備
- ・高性能な農業機械の導入

愛知県立学校条例の一部改正

対象者

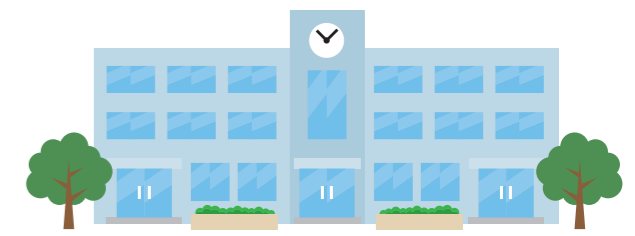
高等学校等就学支援金の受給権者

減免する額

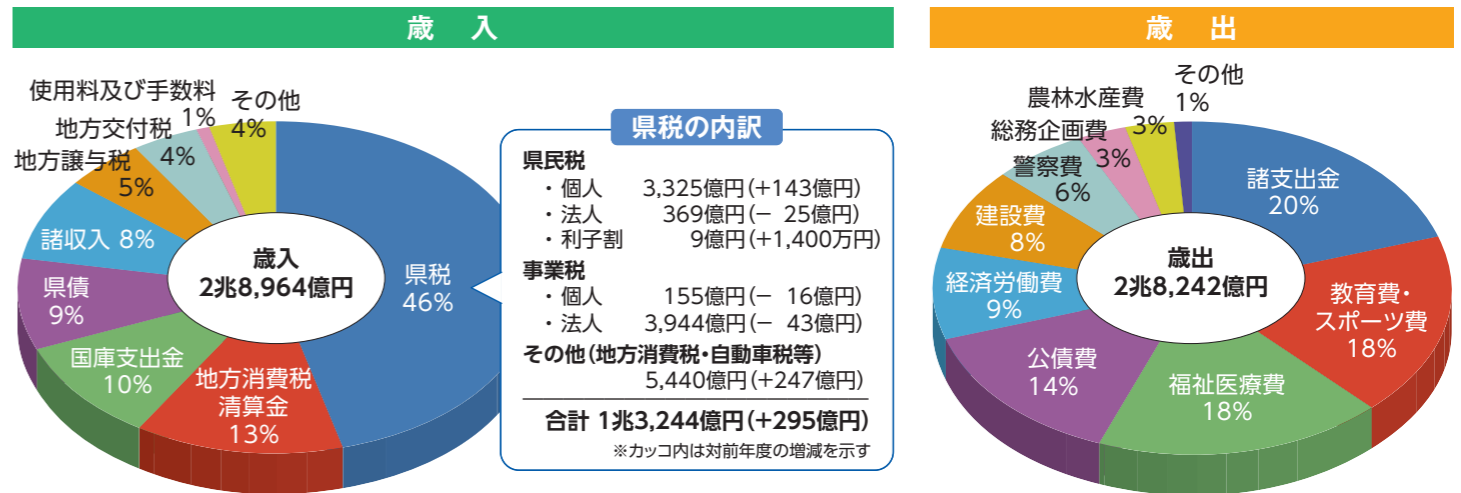
納付すべき授業料及び受講料の合計額と高等学校等就学支援金の支給限度額との差額

補足

4月1日から、愛知県立津島北高等学校及び愛知県立海翔高等学校を統合し、愛知県立津島北翔高等学校を設置。また、全日制・昼間定時制・通信制の3課程を一つの学校内に置き、不登校経験者など多様なニーズを持つ生徒が、自分のペースに合わせて課程間をフレキシブルに行き来して学べる学校であるフレキシブルハイスクールを4月から開設するにあたり、全日制課程の科目を併修する場合の受講料の額を定めることへの対応。



令和5年度一般会計決算について



総括

- 県税収入の増収などにより、年度内の減債基金(任意積立)及び財政調整基金の取り崩しをできる限り取り止めたいと、令和4年度に引き続き実質収支が黒字となった。
- しかし、県の財政運営は、令和7年度にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者なることに加え、子ども・子育て支援の強化により、医療・介護・子育てなどの扶助費が大きくなることから依然として厳しい状況。加えて、海外景気の下振れ、物価上昇、中東情勢、金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。



あいち民主県議団研修会

DMAT(災害派遣医療チーム)による能登半島地震における活動について事務局次長 近藤久禎さんよりご講演いただきました。



講演概要

1. 医療にとって災害とは?

急激な需要バランスの崩壊により、医療のひっ迫、崩壊を招く状態

2. DMAT基本活動

災害医療体制を確立、被災医療機関・施設支援

3. 能登半島地震での活動

①緊急医療アクセス確保

要緊急医療者の初期診療、搬送 **1月7日完了**

②最低限環境確保と緊急避難搬送

飲料水、食料、暖房環境確保 **1月18日完了**

生活に耐えられない方の広域避難搬送

③継続可能な保健医療福祉体制の確立

病院・施設・診療所機能維持支援 **1月29日完了**

④地域の保健医療福祉体制の復旧 **1月29日完了**

防ぎ得る
災害による死亡、
悲劇の提言

■教訓

地域の保健医療福祉体制の復旧・復興に向け、被災高齢者に可能な限り、元と同じ人生、生活を維持することにより災害による悲劇を低減させる。

*医療ひっ迫により、高齢者等が市外・県外にやむを得ず避難したが、環境等に馴染めず避難先で生涯を終える方が散見された。(人生の最後をどこで迎えるのか)

◆一言

NHKプロジェクトXの中でコロナ禍におけるDMATの災害医療体制の確立に向けた活動が取り上げられました。



日々の活動



11/10 『いまどきのギャンブル依存症を知ろう!』セミナーに参加

俳優の高知東生さんが過去の薬物依存症をどう克服されたか、赤裸々に話されました。



11/13 全トヨタ労連 政推連総会

地方議員連絡会代表幹事として活動を報告しました。



11/15 教育予算の要請書を受けました!!

豊田市教職員組合より、一昨年から導入されたラーケーションや学校ホリデーの現状を伺いました。



11/22 あいち技能五輪、アピリンピック2024を視察

開会式での愛知商業高校書道部による書道パフォーマンスに感動しました!



11/24 豊川駐屯地創立74周年 記念行事に出席

能登半島地震や台風10号による蒲郡地区の土砂崩れ対応などの災害に対する迅速な対応に感謝!



12/7 豊田市社会福祉大会に出席

豊田市は社会福祉に貢献している方が多く、市民力の高さを感じました!

ホームページを是非ご覧ください ▶ <https://sakurai-hideki.com/>

発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

